

## 前年度（令和6年度）の改善方策について実行した改善結果

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
令和6年度に実施してきました改善方策について実行した改善結果をご報告させていただきます。

### ＜令和6年度の経堂小学校の経営＞

#### 1. **課題を解決する力の育成**・・・自分を自分で育てる、役立てる

自ら課題を見付け、解決のための見通しをもち、必要な情報を収集したり整理分析したりして自分の考えをまとめ、表現していく「探究的な学び」を充実させる。

#### 2. **自己肯定感・協働する力の育成**・・・自分を育てる、役立てる

子どもを褒め、認める指導を基盤に、自他を大切にし、互いを伸ばそうと「学び合う活動」「学びを振り返る活動」を充実させる。

#### 3. **非認知能力・創造する力の育成**・・・自分を育てる、役立てる

自己の目標（ゴールイメージ）に向けて、自分は何ができるかを考え、諦めずに粘り強く取り組む児童を育成する。

### ＜数値目標の達成結果＞

#### 1. **課題を解決する力の育成**

自ら課題を見付け、解決のための見通しをもち、必要な情報を収集したり整理分析したりしながら自分の考えをまとめ、表現することができたといえる児童の割合を80%以上にする。

⇒児童アンケートの結果から、「先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で扱っている」について、肯定的な回答をした児童は90.1%、「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」について肯定的回答をした児童は93.2%であった。全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童は86.2%だった。一方、児童アンケートにおいて、「授業中に、自分の考えを書いたり話したりして伝えている」児童は76.4%、「自分でめあてを立てて学習している」児童は73.4%と、8割に満たない結果となった。

#### 2. **自己肯定感・協働する力の育成**

かかわり合う活動を通して、自分の考えを高めることができたといえる児童の割合を80%以上にする。

⇒全国学力・学習状況調査の児童質問紙調査において、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、考え方方に気付いたりすることができている」について肯定的な回答をした児童は90.2%だった。また、児童アンケートの結果から、「友達との関わり合いや学び合いを通して、成長している」と回答した児童は、81.4%であった。

#### 3. **非認知能力・創造する力の育成**

自己の目標（ゴールイメージ）に向けて、自分は何ができるかを考え、諦めずに粘り強く取り組んだりすることができた児童の割合を80%以上にする。

⇒児童アンケートの結果から、「目標をもち、その実現に向けて努力している」児童は76.4%、「目標に向かって、諦めずに取り組んでいる」児童は76.4%と昨年度よりも減少した。